

②基盤技術間接活用型（新規装置等開発型）

目的とする試作開発において必要となる新たな装置等の開発を、特定ものづくり基盤技術を用いて行うような事業

例

加熱水蒸気による蒸タコの試作（目的の試作開発）のため、動力伝達技術を活用して食品製造装置も開発

現在、食品市場で流通しているゆでタコは消費期限が〇〇程度であり、見た目の鮮やかさも損ないやすい。これを克服するため、製品価値を高める調理方法の確立が課題となっている。そこで、本事業では、動力伝達技術を用いて加熱水蒸気を利用した蒸しタコ製造装置を試作開発し、当該装置を使って調理したタコの鮮やかな色を失わず、鮮度を通常以上に保つ蒸しタコを試作する。さらに当該事業では、高級食料品向けの市場を開拓する。

③基盤技術間接活用型（既存装置等改良型）

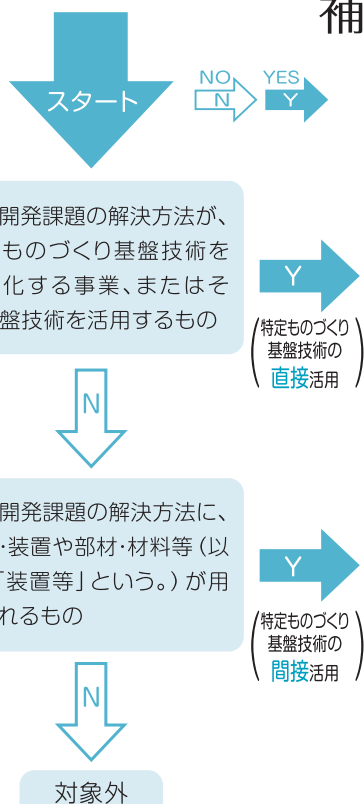
目的とする試作開発において必要となる既存の装置等の改良を、特定ものづくり基盤技術を用いて行うような事業

例

刺繍技術とプリント技術との融合によって小生産多品種型の差別化された意匠を付与した衣料品の試作開発（目的の試作開発）のため、組込みソフトウェア及び部材の結合技術を活用して、既存の刺繍装置を改良

当社では低価格帯を狙った大量生産少品種型の衣料品を製造してきたが、海外に生産拠点をもつ大手企業の台頭のため、小生産多品種型の差別化された意匠を付与した衣料品への転換を検討している。その実現のためには刺繍技術とプリント技術との融合が課題であることから、組込みソフトウェア及び部材の結合技術を活用して既存の刺繍装置を改良し、当該装置を使った衣料品を試作開発する。本事業で試作開発した衣料品は展示会へ出展し、高級専門店等の販路先を開拓する。

補助対象診断シート



補助対象事業となる事業類型

①基盤技術直接活用型

目的とする試作開発において、特定ものづくり基盤技術を直接的に用いて行うような事業

- 【例1】中空構造品の一体成形に係る加工法の開発に資する鋳造技術の高度化
- 【例2】高度化された金型技術を活用する難加工の開発

②基盤技術間接活用型（新規装置等開発型）

目的とする試作開発において必要となる新たな装置等の開発を、特定ものづくり基盤技術を用いて行うような事業

- 【例1】加熱水蒸気による蒸タコの試作（目的の試作開発）のため、動力伝達技術を活用して食品製造装置も開発
- 【例2】LEDランプの試作（目的の試作開発）のため、切削加工技術を活用して精密ガラスを開発

③基盤技術間接活用型（既存装置等改良型）

目的とする試作開発において必要となる既存の装置等の改良を、特定ものづくり基盤技術を用いて行うような事業

- 【例1】刺繍技術とプリント技術との融合によって小生産多品種型の差別化された意匠を付与した衣料品の試作開発（目的の試作開発）のため、組込みソフトウェア及び部材の結合技術を活用して、既存の刺繍装置を改良
- 【例2】高品質かつ低コストな靴の試作開発（目的の試作開発）のため、熱処理技術を活用して既存の作業ロボットの部材を改良